

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER ガバナー月信

CHANGE 9

2021 vol.3

南尾張分区 ガバナー補佐
杉野正博

クラブの発展なくして ロータリーの発展なし

南尾張分区
特集



コロナゼロ・カーボンゼロ支援





©Tsuneken



南尾張分区のパワーを結集し、 地区方針プロジェクトを達成します。

「チェンジロータリー 新時代への成長に! ~コロナゼロ・カーボンゼロ 支援~」正に時を得た素晴らしい地区方針を発信されたと思います。今まさに世界中がこの二つの危機「パンデミック、気候変動」にさらされており、ロータリーとしても、従来型の奉仕活動を超えて、この課題に向き合わなければならない時期に直面していると感じています。そして、この新時代に、「ロータリーは変化し成長しなければならない」と発言されています。我々一人一人の会員が「今何に取り組まなければならないか! どう変化するべきなのか!」議論し行動を起こす一年だと感じます。

南尾張分区 ガバナー補佐 杉野正博

GOVERNOR'S MESSAGE

クラブの発展なくして ロータリーの発展なし

新年度がはじまり2か月がたちました。ガバナー公式訪問がはじまり、各クラブでお話をさせていただきます。皆さんのクラブに伺うことを楽しみにしています。地区方針「チェンジロータリー新時代への成長に！～コロナゼロ・カーボンゼロ支援～人類の危機を救うロータリーになろう」の行動方針として「クラブの発展なくしてロータリーの発展なし」を最初に掲げています。親睦中心のクラブから社会奉仕に重点をおくクラブへチェンジしていくため、会員が一丸となる事業を実施してください。ロータリー奉仕デーを活用して地域貢献し、ロータリーをアピールしてください。ロータリーの認知度が上がると会員増強がしやすくなります。会員が増えるとより大きな事業、インパクトのある事業ができます。また補助金を利用することで今までできなかった事業ができるようになります。ロータリークラブは素晴らしい奉仕活動をしている団体だと自信をもって言いましょう。私ガバナーをはじめ地区委員会は、第2760地区、84ロータリークラブがより元気に、活力あるクラブになってもらうために、全力で応援します。現在、新型コロナウイルス感染拡大の影響がまだまだ続いており、10月9日・10日に予定していたワールドフード+ふれ愛フェスタは延期を余儀なくされました。しかし中止ではなく延期です。開催するため神野実行委員長をはじめ実行委員の方々と再度計画しております。より良いものができるよう尽力していきますので、ご協力をお願いいたします。また11月6日・7日開催予定の地区大会は、参加者が限定的でありますので実施の方向で準備を進めています。まだ登録をしていない方はいますぐ登録をお願いいたします。益々の皆様の活躍にご期待申し上げます。



ガバナー 沓名俊裕

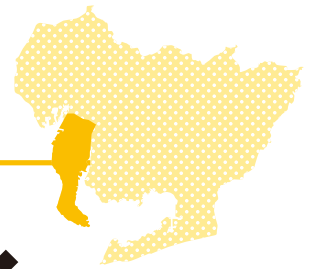


チェンジロータリー新時代への成長に！～コロナゼロ・カーボンゼロ支援～

2021-22年度は新型コロナ・カーボンゼロを支援します。

「2760地区が人類の危機を救う発信地になる」そんな想いをバッジに込めました。

南尾張分区の活動方針・報告



ロータリーの力で、
コロナを乗り越えよう!!

PROFILE

南尾張分区 ガバナー補佐

杉野 正博

すぎの まさひろ

1944年11月18日生
株式会社LIXIL 顧問

【ロータリー歴】

2012.7 入会

2014-15 職業奉仕委員長

2015-16 会長エレクト

2016-17 会長

ベネファクター
ポール・ハリス・フェロー

◆ 南尾張分区のご紹介 ◆



タイル博物館と窯のある広場ミュージアム



常滑のやきもの散歩道



常滑の登り窯



野間灯台

半田ロータリークラブ

会長 川口 新平 / 幹事 加藤 順三

クラブ方針「時代の変化に乗った成長をしよう。」昨年度半田RCは創立70周年を迎え、新型コロナまん延の中、松石会長を中心に記念事業や例会も形を変えながら開催致しました。総仕上げの70周年記念式典は年度をまたいで令和4年5月に名鉄グランドホテルで予定しています。

約1年半に渡るコロナ感染症との戦いを続けながら本年も沓名俊裕ガバナーの方針に添ったロータリーを進めます。クラブとしては 1. 新型コロナ感染、地球温暖化が我々に及ぼした変化に負けず乗りきろう。2. この時期だからこそ会員の親睦を深めよう。3. 会員の増強と維持を計ろう。新年度総会も厳重なコロナ防御の上施行しました。コロナワクチン接種も医師会・半田市・RCが一致団結して進めます。「ロータリー奉仕デー」は9月12日早朝に半田運河沿い中心に美化プロジェクトを半田クリーンセンターの協力を受け実施予定です。



創立70周年記念植樹例会



創立70周年記念植樹(中日新聞記事)

常滑ロータリークラブ

会長 新井 富雅 / 幹事 藤井 智久

常滑ロータリークラブは1966年5月の設立で55年を数えます。2020-21年度は4名の入会、2名の退会があり、現在42名のクラブです。昨年度の活動としてはコロナ禍ということもあり、なかなか対外的活動もできにくい状況もあり、また会員同士の懇親も限られたものとなりましたが常滑市民病院の皆様への応援、また例会場、事務局の移転を行いました。今年度の取組としては、IMのホスト、次年度の地区大会のホストを控え、各実行委員会とともに取り組んでいきます。ウィズコロナの状況を見据え、各種活動も見直し、シンプルに、懇親と奉仕を両立させていきたいと考えます。またガバナー補佐輩出のクラブとしてロータリー奉仕デーの活動に取り組んでいきたいと思ひます。



新例会場



在籍60年を迎えられた伊奈輝三君を囲んで

東海ロータリークラブ

会長 早川 式彦 / 幹事 久野 巳生

当クラブでは、会員人材を生かした地域奉仕活動を展開するため医師会員が地域に出ていき知識技術を直接伝えること、今年度はコロナウィルスによる感染・発病など地域住民の不安に対して適切な情報を伝えるために地方自治体の共催を得て医療フォーラムを開催することを計画している。

また国際奉仕についてはコロナ禍にあって海外に出向いての支援は困難なため、今年度は支援可能な難民救済方法を模索して事業活動を展開していきたい。

今年度より新しい会場での例会となったので、コロナ対策として検温器・アクリル板・CO2測定器を設置し、換気も十分行い感染防止に努めている。



例会場



検温器

東知多ロータリークラブ

会長 青山 五郎 / 幹事 吉田 智洋

21-22年度は青山会長の「ロータリーを知り、好きになり、全員で楽しもう」という方針でスタートした。コロナ禍において通常方式の例会開催が、今年度も困難な状態である。しかし、東知多RCではコロナ禍でも安心・安全にロータリーを楽しむために例会の形を一時的に大きく変えている。具体的には、例会場をカリモクKテラスから、事務局での小規模開催に変更した。食事を伴わない短時間での開催に留め、現地への例会参加が不可能な会員にはZoomでのオンライン参加を可能にするハイブリッド方式での例会を採用した。画面越しにでも、会員と顔を合わせ例会を行っている。7月15日に行われたガバナー補佐訪問でも、このハイブリッド方式で行い一定の成果を得る事が出来た。9月12日「ロータリー海岸美化デー」では東浦町役場の協力のもと、東浦みどり浜緑地を清掃予定である。依然として制限のある生活が続く中、ロータリアンとして有意義な時間を過ごし楽しみたい。



7月15日に行われたガバナー補佐訪問



事務局でのハイブリット形式例会



清掃予定地 東浦みどり浜緑地

半田南ロータリークラブ

会長 榊原 英 / 幹事 手島 嘉宏

本年度のクラブテーマは「夢は大きく ロータリーの未来のために」を掲げさせてもらいました。我クラブは会員数34名と少ない会員で運営しており地区出向者が6名その中には委員長経験者もおります。また米山奨学生も2名来ており会員34名 ONE TEAM となりクラブ運営をしています。本年度、RI 会長、地区方針にもあるように会員の基盤を広げるためにも、3年後の45周年には会員数45名、50周年には会員数50名を目指して多様性に富んだ会員増強に力を入れていきます。活動内容といたしましては、ガバナーより要請がありました、ロータリー奉仕デー海岸美化プロジェクト、WFF 例会、半田南ロータリー大賞、地区補助金事業、またグローバル補助金を使った図書支援プロジェクト事業の支援国としての協力など様々な活動を予定しております。



子ども食堂寄附



半田南ロータリー大賞

大府ロータリークラブは、社会福祉協議会など地域の障がい児団体と協力して、ふれあいボーリング大会や、心身障がい児者クリスマス会など長年事業を継続してきました。ふれあいボーリング大会では、大府市内の障がい児者を招待して懇親をはかります。心身障がい児者クリスマス会では、大府市内の障がい児者を招待してクリスマス会を開催。来賓（市長など）がサンタに扮しプレゼントやお菓子などを配ったり、ダンスなど参加者参加型の企画をして思い出づくりをしてもらう事業です。2020-2021年度はコロナの影響で事業の中止、縮小が余儀なくされました。本年度もコロナの影響は避けられませんが各事業の開催に向けて地域社会に貢献できる事業を実施していきたいと思っています。



ふれあいボーリング大会



心身障がい児者クリスマス会

ロータリー特別月間

ロータリアンの皆さん『ロータリーの友』を愛読していますか？

『ロータリーの友』誌は1953年1月に創刊され68年になります。戦後の日本が第60地区という一つの地区から2地区に分割され、共通の機関紙が必要となり発刊されました。1977年にはRIの公式地域雑誌になり、ロータリーの成長と共に、Web化が進みスマートフォンから閲覧できるようになりました。『友』は8万6千人いる日本のロータリークラブの会員の機関紙です。『友』誌を読むことで日本の、そして世界のロータリーのあり方や活動を知り、同じ理念を持つ仲間ができます。新しい役職に就いた時、何を奉仕するか、どんな活動をするか迷いませんか。『友』誌を読むことでアイデアが生まれます。あなたの『友』だから。



ロータリーの友委員会 地区代表委員
尾本和弘



◀ ロータリーの友

▲ ロータリーの友編集部



人類の危機を救うロータリーになろう！

2760地区ゼロバッジについて



— 常時着用をお願いします —

ガバナー事務所・ガバナーエレクト事務所

ガバナー事務所

TEL: 052-201-2760 / FAX: 052-201-1670
E-mail: governor21-22@rotary2760.org
URL: <https://www.rotary2760.org/>

【ロータリー財団】

TEL: 052-211-2760 / FAX: 052-211-0230
E-mail: fbranch@rotary2760.org

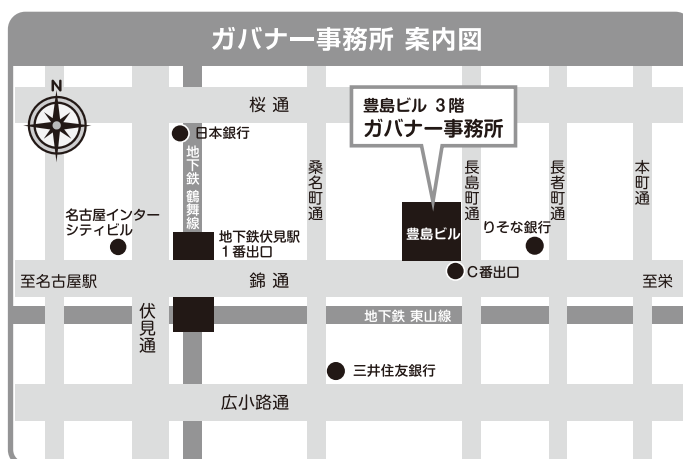
【米山・青少年交換】

TEL: 052-228-0808 / FAX: 052-211-0230
E-mail: (米山)ybranch@rotary2760.org
(青少年交換)ybranch@rotary2760.org

ガバナーエレクト事務所

TEL: 052-203-2760 / FAX: 052-201-1670
E-mail: governor22-23@rotary2760.org

〒460-0003 名古屋市中区錦二丁目15番15号 豊島ビル3階



2760地区の最新情報をアプリでチェック



各アプリストアで2760で検索してご利用ください。